

平成24年度“まちづくりびと”ステップアップ講座 第3弾

## ～“う”てならないためのファシリテーター講座～

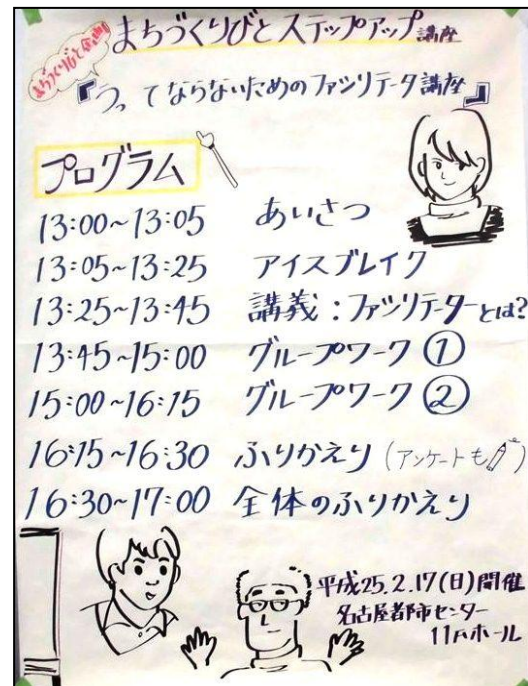
開講日：平成25年2月17日（日）

場 所：名古屋都市センター11階ホール

時 間：13時～17時

参加者：16名

名古屋都市センターの講座修了生で、まちづくりびとの登録をしている方、名古屋市内を中心に地域でまちづくり活動を行っている方等が参加



今回は、前回の講座で受講生が、講座を企画する側に立ってやってみたい講座を企画・提案し、その結果参加者から賛同が多く得られた講座を実践していただきました。

### 開講・アイスブレイク

開講にあたって、都市センター柴田主幹より、趣旨説明とあいさつがありました。



皆さんこんにちは。今回の講座は、前回参加したまちづくりびとや地域で活動されている団体の方が3つのグループに分かれ、自分たちでやってみたい講座を企画・提案していただきました。その中で選ばれた講座ですので、楽しく参加していただければと思います。

続いてこの講座を企画した班のメンバーの方の紹介です。眞弓さん、わたなべさん、鬼頭さん、立松さんです。眞弓さんにこの企画を考えた経緯などを説明していただきました。



ここにみえる皆さんは、ファシリテーターやグループワークでの心得は講座などでご存知で、話し合いの場を荒らすような状況にはならないと思います。実際の地域での話し合いの場では、大きな声で話を続ける人や何も意見を言わない人など様々です。そういう実践の場を経験できる講座をやりたいとの意見が出て、今回の講座の企画を提案してみました。

講座の前に、初対面の方もあり、表情も硬いため、まちづくりびとの河合さんがアイスブレイクを進行しました。体も少し動かせるフルーツバスケットです。



フルーツバスケットで隣りの人がある程度入れ替わったところで、隣り同士2人1組になり、1分間フリーで自己紹介をしました。



皆さん、体も表情も解きほぐれたようです。

## 講義：ファシリテーターとは

講師は(株)ソーシャル・アクティ代表取締役で  
まちづくりびとでもある林 加代子さんです。



講義の前に、「ファシリテーターって何だろう？」との投げかけが林さんから受講生にありました。参加者からは、「司会者に近いもの」「コミュニケーションをサポートする存在」「気づきやヒントを与える」「強要しない」「話をまとめる、まとめながら進行もする」などの意見がでました。

講義では、「ファシリテート(facilitate)」「ファシリティ(facility)」について、普段の生活のなかにある身近な言葉であるということを認識してもらえよう説明がありました。「ファシリテーター」について、ビジネス分野や社会教育分野、アート分野など様々に分類されるなかで「合意形成型」「問題解決型」「教育研修型」「自己表現型」「体験学習型」「自己変革型」などの役割があるということでした。そのなかでまちづくりに関するものは合意形成型に含まれるそうです。



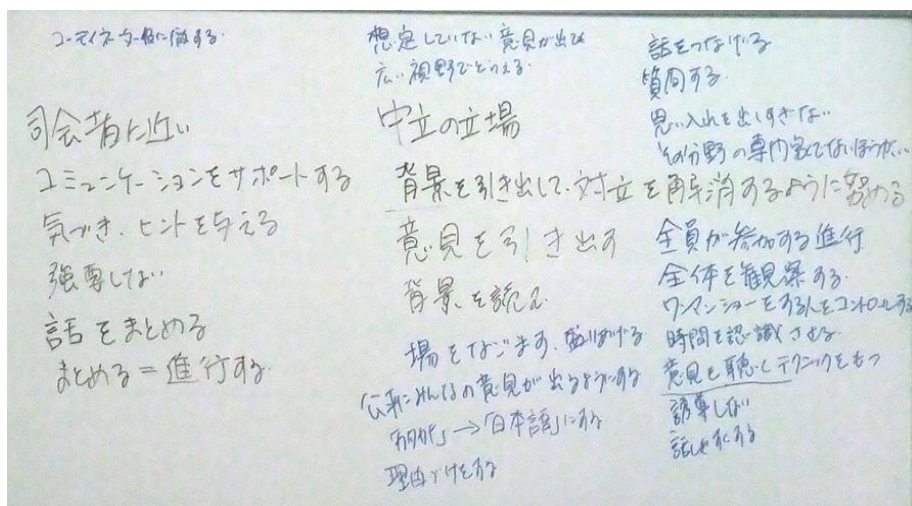
ファシリテーターは「まちづくりのなかで、どんなことを求められているのか。」

受講生からは「中立的な立場を求められている」「意見が割れたとき、協調的にうまく解消するように努める」「その場に集まっている人の意見を引き出すのが大事」「慣れていない人のために背景を読んであげられる人」などの意見がありました。

では、「どんなことをすればいいのだろう、具体的に何をしたらいいのだろう。」

この投げかけについては、受講生の皆さんに1分間、隣の人と話し合ってもらいました。話し合った意見について、2人のうちどちらかが順番にマイクを回しながら発表しました。

- ・場を盛り上げ和ませて、公平にみんなが意見を出せるようにする。
- ・カタカナ表現ではなく日本語で言う。
- ・参加者が依存してしまわないように、全員が参加できる雰囲気を導く進行が必要。
- ・全体を見る。全体を観察する。
- ・ワンマンショーをする人をコントロールする。時間を認識させる。
- ・意見を聞くテクニックをもつ。
- ・自分の意見を言って誘導しない。
- ・話しやすくする。
- ・その分野の専門家ではないほうがいい。
- ・思い入れを出し過ぎない。
- ・相手の意見に同調してあげて、AさんとBさんをつなげる。
- ・想定していない意見が出たとき、“うっ”てなるため、広い視野で物事をとらえることが大事。
- ・コーディネーター役に徹する、調整役。



マイクを回してみると、受講生の皆さんそれぞれ考えや意見を持ってみえることが分かりました。

この後、ワークショップでファシリテーター役を担当するときは、今出た意見を心がけながら行っていただきました。

## グループワーク

3つの班に分かれ、グループワーク1、2ごとにファシリテーター役など役割を分担し、テーマに沿ってグループワークを行いました。

### 【グループワーク1】

#### (1) テーマ1：住民交流まつり開催

- ・地域設定：1学区5,000人、転勤族と旧住民がそれぞれ半数

- ・ 目的：多世代間の交流、地域の活性化

(2) 役割

- 1 ファシリテーター
- 2 子ども会代表：子どもの立場を優先
- 3 商工会（商店街）代表：地域には協力、出来るだけ利潤も上げたい
- 4 自分の意見が言えない人
- 5 自分の意見を通そうとする人、反対意見を言う人、決まりかけていた事項に異論を唱える人
- 6 その他 グラフィックカー

(3) 想定される検討項目

- ・ 運営主体、日程、役割分担
- ・ 会場設定
- ・ 事業内容

【グループワーク 2】

(1) テーマ 環境：花いっぱいにして活動の開催

- ・ 地域設定：1 町内会 300 世帯、高齢者世帯が半数、地下鉄駅周辺
- ・ 目的：緑化、町美、ゴミのポイ捨てを無くす、環境問題を考えるきっかけ

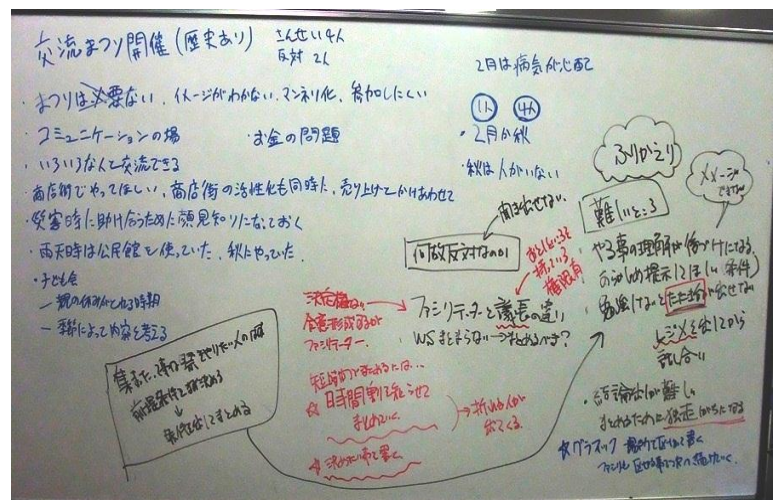
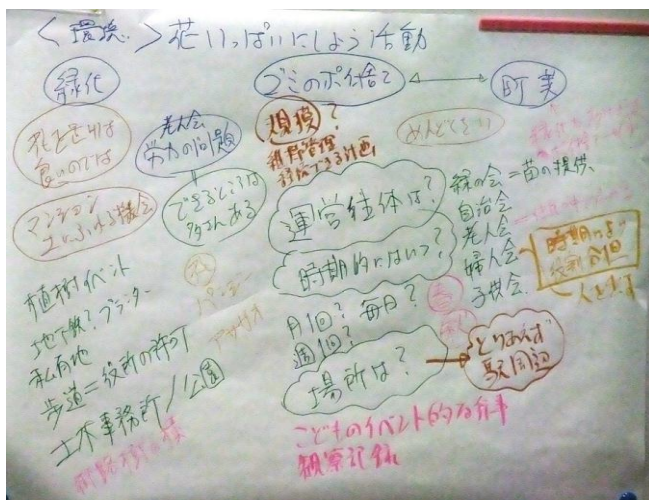
(2) グループワークの役割

- 1 ファシリテーター
- 2 子ども会代表：子どもの立場を優先
- 3 老人会代表：高齢者に地域活動でのやりがいを持ってもらいたい
- 4 自分の意見が言えない人
- 5 自分の意見を通そうとする人、反対意見を言う人、決まりかけていた事項に異論を唱える人
- 6 その他 グラフィックカー

(3) 想定される検討項目

- ・ 運営主体、日程、役割分担
- ・ 地域設定
- ・ 事業内容





## ふいかえり

グループワーク 1、グループワーク 2 と終えたところで、グループごとに擬似体験の評価や感じたことの意見を話し合いました。

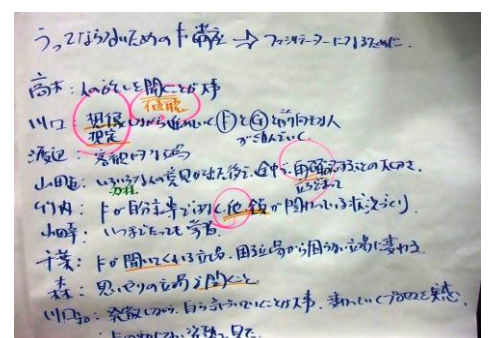
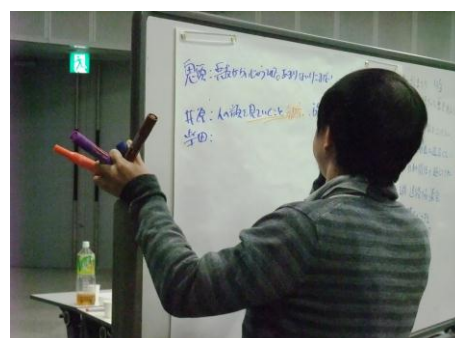
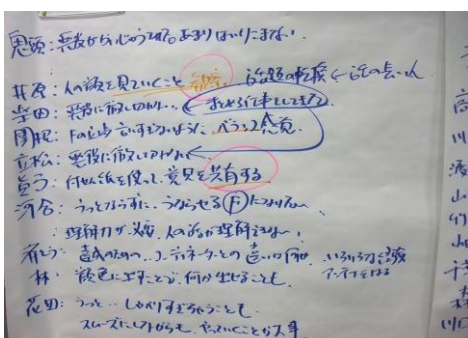
話し合った感想を各グループから 1 人発表していただきました。



「グループワーク 1 での反省を活かしてグループワーク 2 を行った結果違う結果が出て面白かった。いろんなパターンでファシリテーターを経験するのいいと思った。また、何かの会合などに参加している時はファシリテーターを冷静な目で観察できないが、今回は観察してみることができて勉強になった。」などの感想がありました。

## 全体で振り返り

最後に、全員で円形になり、一人ずつ振り返りの感想を述べました。その際、司会進行をまちづくりびとの花田さんが行い、吉村さんに、発言内容をファシリテーショングラフィック (FG) で見える化し、まとめのコメントをしていただきました。





### 【吉村さんのまとめのコメント】

皆さん、近いことを考えていらっしゃるのを感じたことは共通することが出てくるのは当然なのですが、(高木さんが言われたように)ファシリテーションをする時、一番大事な「人の話を聴くこと」という傾聴がすごく大事なと思います。

(川口さんが言われたように)色々なことを想像しながらイメージを自分の中で膨らませて

いくとか「想定」これは結構、大事だなと思いました。

(山田さんが言われた)「再確認」という、再という言葉からくる確認。

(竹内さんが言われた)ファシリテーションは自分だけでなく他の人の話を…という「他」という言葉もキーワードかなと思いました。

(井原さんが言われた)観察という言葉、林さんの言われた言葉と繋げると、顔色に出すことで誰かが観察していることが、上手に繋がっていくとテクニク的には悪くないなと思いました。

(眞弓さんがいわれたように)共有する、このキーワードはとても大事だなと思いました。

以上を踏まえて、今日出てきていない言葉で私なりに整理しますと、1つは「自由自在な引出し」を持つことは大事なのではないかな。これを持って、「多様な意見を引き出す」。両方あるのですが、それぞれの方が(自分が)どういう事を考えてきたか、経験を生きてきたか、知識があるか、というのを持っている、色々な人の多様な意見を引き出せるのです。

私自身の持論では、ファシリテーターはある程度、色々なことを知っていた方がより議論、話が豊かになるのではないかなと思っているのですが、その理由は、ある人が言われた意見に、違った観点、経験からヒントがあるのだと結びつけられると、より豊かになるのではないかと思います。

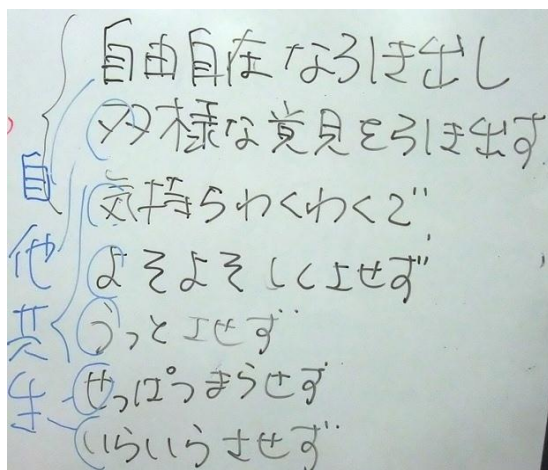
皆さん自身が色々な引出しを沢山持っていることが大事なのではないかなと思っています。

話し合いのファシリテーションをする際には、ある部分には強いところがあったり、(齋藤さんが言われた)色々なアンテナを張っておいて、色々なことを知っていると、より色々な話し合いが出来るのではないかなと思っています。

これを「気持ちわくわくで」。3つが大事なかなと今日思いました。

そのうえで、「よそよそしくさせず」「うっとさせず」「せっぱつまらせず」「いらいらさせず」が今日の話のキーワードかなと思っていて、これを上手く繋げると「自他共生」。

(森さんの)思いやりの立場で聴くこともそうなのですが、自分と他者を考えながら共に生かし



ていくか、というのが「うっとならないために」は大事ななと思いました。

#### **\* アンケートより**

**参考になったことやわからなかったことを具体的に記入してください。**

- ・ ファシリテーターとして気をつけることについて勉強になりました。みんなの意見を初めに聞き、共有し、話し合いの途中でも再確認し思いやりの気持ちを持って進めていくことが大切だと気づきました。
- ・ 人の話を聞く大事さと、まとめのむつかしさ。1つ目と2つ目WSの人を入れ替えた方がおもしろかったかもしれません。聞きながら書くというのは訓練が必要だと思いました。
- ・ 地域のテーマで街活性化する為、大変必要でこれからも役に立つ様に行動します。
- ・ ファシリテーターが行うべき実際の役割（テーマ→目的→時間割）を意識することができ、とても参考になりおもしろかったです。
- ・ 自分のファシリテーターが現役時代から最初に変化していたが、後半は現役に戻ったかな？
- ・ 参加された皆さん、それぞれの振り返り、そこから得られた知見がとても参考になった。気になったこととしては、ファシリテーターはWSの中で意思決定を導くべきかどうかの判断も必要なのかどうかということ。
- ・ グラフィックの役割について考えることができました。
- ・ グラフィックの役割を再認識できた。
- ・ ファシリテーターのあるべき姿を客観的に見ることができました。こうあってはいけないな、という姿とか。話の長い人の話を、どのように切るか、転換させるかのコツを知りたいです。
- ・ 自分の意見、反対意見への対応。
- ・ まだ、経験不足であり、まだ、おもいやりがありました。
- ・ ファシリテーターというものが何なのかとても勉強になりました。
- ・ 私自身は自分の意見を余り言わないのがファシリテーターだと思っています。でも少しは言った方がいいのでしょうか？
- ・ ファシリテーターの目的がよくわからなかったが、まとめ役が必要になるかと思います。グループの人々の活動や経験を聞くことで視野が広がりました。

**今後、どのようなスキルアップを希望しますか？**

- ・ 今後も何回も参加して訓練したいと思います。
- ・ 第2弾。
- ・ 実践あるのみです。
- ・ いろいろな場面に対応できるようになりたい。
- ・ いろいろ多くの引き出しをつくりたい。実行実現・・・！
- ・ 多くの人の意見をまとめる力は必要だと思いました。
- ・ ファシグラをもっと回数重ねていきたいです。
- ・ ファシリテーション・スキル。傾聴とまとめる力。

- ・ 場数を踏むことが大事だと思いますので、やはりファシリテーターの講座をお願いします。  
“うっ”とならないための・・・第2回、第3回を希望してもいいですか？
- ・ 講演会（まちづくりの苦労話）実施願います。
- ・ 今後、反対意見や勢力にどう対応していったら良い成果が得られるのか知りたい。（手段があれば）

#### 全体を通じたご意見・ご感想など

- ・ 何時も自分にとって成長？する為に訓練させていただき感謝します。定期的に開催される事は大変だと思いますが参加する方は互いに「学び」を積み重ねる事が出来ました。
- ・ 大変、勉強になりました。長いかなと思っていましたが充実した時間を過ごせました。ありがとうございました。
- ・ 種々の経験をうまく活用できるよう心がけます。
- ・ ファシリテーターをうまくやるためには、多様な引出しが必要なのは体験しないとわかりません。また機会がありましたらよろしくお願いします。
- ・ 前回の講座よりも（ステップアップ）入りやすく、分かりやすく楽しかったです。
- ・ とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 半日、楽しい時間を送る事が出来た。
- ・ いろんな人の意見を聞くことができて、とても良い経験ができました。
- ・ 「うっ」とならなかったと思いますが、結局、実践の形でワークをしたのが1番良かったと思います。理想的に良いパターンのワークの体験はやはり良いのです。
- ・ 架空の話し合いで、よりファシリテーターのむづかしさはわかる試みだった。ただ、実際の町づくりの実践報告の中で考えさせられた方が参考になり、身になったと思います。
- ・ ファシリテーターに依存させないことは、やはり難しいと感じた。介入の度合いや適切な時機の状況判断は難しい。ただ、こうした講座を通じて、ファシリテーションを磨けそうな気がします。
- ・ できるだけ、たくさんの人にファシリをやってもらうためにテーマをもっと絞り込み話し合う内容をもっと具体的にして、いくつものグループワークをやれるとよかったと思います。
- ・ 自分自身、増々知識が付いて大変ありがとうございました。
- ・ 大変、楽しく過ごせました。
- ・ グループワーク1日の時間が長い印象も。1回目と2回目でメンバーを変えてもよかったかも。
- ・ まちづくりは各人の意識によるもの、1人1人が高い意識でいられたら良いまちができると思います。